

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場会社名 日野自動車株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7205 URL <http://www.hino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 芳夫

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部 広報渉外室長 (氏名) 坂木 敏久

TEL 042-586-5494

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	666,133	△24.5	△18,792	—	△22,694	—	△28,904	—
21年3月期第3四半期	882,794	—	△4,494	—	△12,566	—	△19,542	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△50.56	—
21年3月期第3四半期	△34.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	753,060	196,802	23.8	313.57
21年3月期	755,192	218,942	26.9	354.23

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 179,092百万円 21年3月期 202,780百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では、期末配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	980,000	△8.4	△9,000	—	△14,500	—	△22,500	—	△39.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 574,580,850株 21年3月期 574,580,850株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,435,514株 21年3月期 2,120,176株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 571,727,163株 21年3月期第3四半期 573,526,794株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月28日に公表いたしました通期の連結業績予想を本資料において修正しております。
2. 期末配当予想につきましては、現時点で判断する業績予想を鑑み、未定とさせていただきます、業績実績等を総合的に勘案した上でご提案させていただきます。
3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	710,000	△8.5	△17,000	—	△14,000	—	△16,500	—	△28.88

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（9 ヶ月）における国内普通トラック（大型・中型トラック）市場につきましては、企業収益の悪化等により総需要は 29 千台と前年同四半期に比べ 23 千台(△44.1%)減少いたしました。また、小型トラック市場におきましても、総需要は 34 千台と前年同四半期に比べ 21 千台(△38.1%)減少いたしました。

国内売上台数につきましては、前述の需要減少に伴いトラック・バス総合計で 18 千台と前年同四半期に比べ 10 千台(△36.5%)減少いたしました。

海外市場につきましては、世界的な景気低迷を背景に、トラック・バスの売上台数は 39 千台と前年同四半期に比べ 14 千台(△26.1%)減少いたしました。

以上により、日野ブランド事業のトラック・バスの総売上台数は 56 千台となり、前年同四半期に比べ 24 千台(△29.7%)減少いたしました。

トヨタ自動車株式会社からの受託生産車につきましては、オセアニア・中東向けを中心とした「ランドクルーザープラド」の生産が増加したものの、米国向けを中心とした「ハイラックスサーフ」（平成 21 年 8 月生産終了）及び「FJクルーザー」の生産が減少した結果、総生産台数は 75 千台と前年同四半期に比べ 33 千台(△30.5%)減少いたしました。また、海外子会社におけるトヨタブランド車のユニット受託事業の売上高につきましても減少いたしました。

以上、前述の主要な事業すべてにおいて売上高が減少したことにより、売上高は 666,133 百万円と前年同四半期に比べ 216,661 百万円(△24.5%)の減収となりました。また、損益面におきましては、原価改善、固定費削減等を実施いたしましたが、売上高の大幅な減少による減益を補うことができず、営業損失は 18,792 百万円、経常損失は 22,694 百万円、四半期純損失は 28,904 百万円となり、いずれも前年同四半期に比べ減益となりました。

なお、当第 3 四半期（3 ヶ月）における売上高は 273,653 百万円、営業利益は 3,217 百万円、経常利益は 3,048 百万円、四半期純利益は 100 百万円となり、いずれも黒字化を達成いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は、前年度末に比べ 2,132 百万円減少し、753,060 百万円となりました。これは、受託生産車の台数が前年度末に比べ多く、また期末日休日の影響もあり売掛債権が 16,795 百万円増加し、たな卸資産が 5,396 百万円増加した一方で、子会社におけるリース契約の変更による貸与資産の減少を主要因とし、有形固定資産が 26,806 百万円減少したことによります。

負債につきましては、前年度末に比べ 20,007 百万円増加し、556,258 百万円となりました。これは、生産台数が前年度末に比べ多いため買掛債務が 37,710 百万円増加した一方で、子会社におけるリース契約の変更により前受収益が減少したこと及び設備未払金が減少したことを主要因とし、その他流動負債が 20,284 百万円減少したことによります。

純資産につきましては、前年度末に比べ 22,140 百万円減少し、196,802 百万円となりました。これは、株価上昇により投資有価証券の評価差額金が 4,170 百万円増加したものの、四半期純損失 28,904 百万円を計上したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

トヨタ自動車株式会社からの受託生産車ならびに当社製品のトラック・バスの海外市場での販売動向などの経営環境の変化を踏まえ、通期の業績（連結・個別）予想を次のとおり修正しております。

(連結)	売上高	9,800 億円
	営業損失(△)	△90 億円
	国内トラック・バス売上台数	27.2 千台
	海外トラック・バス売上台数	55.0 千台
	トヨタ受託車生産台数	122.8 千台
(個別)	売上高	7,100 億円
	営業損失(△)	△170 億円
	国内トラック・バス出荷台数	27.3 千台
	輸出トラック・バス出荷台数	50.6 千台
	トヨタ受託車生産台数	118.8 千台

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,364	29,725
受取手形及び売掛金	166,248	149,453
商品及び製品	59,432	61,554
仕掛品	24,679	22,649
原材料及び貯蔵品	22,123	16,634
その他	20,240	26,493
貸倒引当金	△3,147	△3,012
流動資産合計	328,941	303,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	95,530	97,139
機械装置及び運搬具(純額)	92,757	93,494
土地	90,708	90,659
その他(純額)	41,295	65,804
有形固定資産合計	320,291	347,097
無形固定資産		
投資その他の資産	22,518	26,698
投資有価証券	67,231	61,874
その他	19,672	21,550
貸倒引当金	△5,595	△5,528
投資その他の資産合計	81,308	77,896
固定資産合計	424,118	451,693
資産合計	753,060	755,192
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,983	110,272
短期借入金	109,335	121,585
コマーシャル・ペーパー	41,000	79,500
1年内返済予定の長期借入金	18,627	20,762
未払法人税等	1,588	1,725
製品保証引当金	8,030	12,095
その他の引当金	1,745	3,894
その他	37,848	58,133
流動負債合計	366,161	407,969
固定負債		
長期借入金	109,469	49,822
退職給付引当金	41,353	40,924
その他の引当金	1,909	2,051
その他	37,364	35,482
固定負債合計	190,096	128,280
負債合計	556,258	536,250

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,717	72,717
資本剰余金	64,327	64,327
利益剰余金	40,117	69,022
自己株式	△1,169	△735
株主資本合計	175,993	205,332
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,372	8,202
繰延ヘッジ損益	△127	△47
土地再評価差額金	1,618	1,618
為替換算調整勘定	△10,763	△12,324
評価・換算差額等合計	3,099	△2,551
新株予約権	125	46
少数株主持分	17,583	16,115
純資産合計	196,802	218,942
負債純資産合計	753,060	755,192

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	882,794	666,133
売上原価	777,620	593,698
売上総利益	105,174	72,435
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	30,002	26,655
賞与引当金繰入額	1,132	905
退職給付引当金繰入額	2,168	1,936
その他	76,364	61,729
販売費及び一般管理費合計	109,668	91,227
営業損失 (△)	△4,494	△18,792
営業外収益		
受取利息	1,214	978
受取配当金	1,277	752
為替差益	—	1,278
雑収入	1,426	1,456
営業外収益合計	3,918	4,465
営業外費用		
支払利息	3,606	3,327
為替差損	6,302	—
持分法による投資損失	573	3,761
雑支出	1,508	1,277
営業外費用合計	11,990	8,367
経常損失 (△)	△12,566	△22,694
特別利益		
固定資産売却益	51	129
投資有価証券売却益	2,149	103
その他	129	124
特別利益合計	2,330	357
特別損失		
固定資産除売却損	888	1,375
投資有価証券評価損	269	—
その他	925	556
特別損失合計	2,082	1,931
税金等調整前四半期純損失 (△)	△12,318	△24,268
法人税、住民税及び事業税	3,448	2,539
法人税等調整額	2,204	475
法人税等合計	5,653	3,014
少数株主利益	1,570	1,621
四半期純損失 (△)	△19,542	△28,904

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産実績

区 分	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	対前年同四半期比
トラック・バス	78,129 台	54,179 台	△23,950 台
受託車両	107,886 台	74,956 台	△32,930 台

(2) 売上実績

区 分	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		対前年同四半期比	
	台数 台	金額 百万円	台数 台	金額 百万円	台数 台	金額 百万円
国内車両	27,603	200,198	17,523	135,888	△10,080	△64,309
海外車両	52,368	200,927	38,687	142,501	△13,681	△58,425
海外生産用部品	—	—	—	1,077	—	1,077
トラック・バス計	79,971	401,125	56,210	279,467	△23,761	△121,658
車両	107,886	187,801	74,956	147,435	△32,930	△40,365
海外生産用部品ほか	—	5,119	—	3,369	—	△1,749
受託車計	107,886	192,920	74,956	150,805	△32,930	△42,115
国内	—	36,844	—	34,045	—	△2,799
海外	—	15,806	—	15,488	—	△318
補給部品計	—	52,651	—	49,533	—	△3,117
国内	—	118,223	—	86,016	—	△32,206
海外	—	19,974	—	23,954	—	3,980
トヨタ	—	97,899	—	76,355	—	△21,543
その他計	—	236,097	—	186,326	—	△49,770
総売上高	—	882,794	—	666,133	—	△216,661

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。